

令和元年度

健康くまもと21推進会議 歯科保健部会

次 第

日時:令和元年8月23日(金)10:00～11:30

場所:ウエルパルクまもと3階 すこやかホール

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

議題1 第3次熊本市歯科保健基本計画の進捗について

(1) 胎児期・妊娠期から中高生期のむし歯予防対策について

(2) 成人期からのむし歯や歯周病対策について

議題2 歯科口腔保健を推進するための社会環境の整備について

4 その他

5 閉 会

【資料】 第3次熊本市歯科保健基本計画の進捗について

【参考資料】

- 1 第3次熊本市歯科保健基本計画 歯科概要版(平成31年3月改訂版)
- 2 第3次熊本市歯科保健基本計画における成果指標の中間評価と最終目標値
- 3 歯っぴー39(サンキュー)チャレンジリーフレット
- 4 無料歯科健診券付き啓発カード(～歯から始めよう～Happy life)

令和元年度 健康くまもと21推進会議 歯科保健部会名簿

	所属・団体等	役職	委員氏名	組織
1	熊本大学大学院生命科学研究部 歯科口腔外科学分野	教授	中山 秀樹	学識経験者
2	熊本市医師会	副会長	濱田 泰之	保健・医療・福祉関係者
3	熊本市歯科医師会	会長	宮本 格尚	保健・医療・福祉関係者
4	熊本市薬剤師会	理事	工藤 壽子	保健・医療・福祉関係者
5	熊本県看護協会	副会長	井手 州子	保健・医療・福祉関係者
6	熊本県栄養士会	副会長	澤村 裕美子	保健・医療・福祉関係者
7	熊本県歯科衛生士会	熊本市支部長	佐藤 成美	保健・医療・福祉関係者
8	熊本市地域包括支援センター 連絡協議会	監事	谷口 千代子	保健・医療・福祉関係者
9	熊本市保育園連盟	副理事長	本田 一幸	保健・医療・福祉関係者
10	熊本市私立幼稚園・認定こども園協会	渉外委員	中村 好郎	その他(教育関係者)
11	熊本市小学校校長会	榆木小学校 校長	原山 照美	その他(教育関係者)
12	熊本市PTA協議会	副会長	佐藤 準一	その他(教育関係者)
13	熊本市食生活改善推進員協議会	会長	平川 恵子	健康くまもと21を推進する団体
14	熊本市8020健康づくりの会	会長	一安 勝	健康くまもと21を推進する団体
15	健康まちづくりを推進する西区の代表	春日校区民生児童委員協議会会長	中島 花江	市民代表者

第3次熊本市歯科保健基本計画の進捗について

第3次熊本市歯科保健基本計画の中間評価について（平成30年度）

中間評価の方法

各指標項目の評価については、健康日本21の中間評価に準じ、基準値と現状値を比較して、その達成状況により4段階（a.b.c.d）で評価した。

【目標達成率の算出式(%)】（現状値－基準値） / （目標値－基準値） × 100

中間評価

a : 10 %以上の改善又は目標達成 **b** : 変わらない(-10 %以上から 10%未満)
c : 10 %以上の悪化 **d** : 指標の把握方法が異なる等により評価困難

1. ライフステージの特性に応じた歯科保健の推進について

胎児期・妊娠期

	指標項目	H23 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
1	口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	50.3%	a	54.5%	75.0%
2	妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	a	2.8%	0.0%
3	妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	a	60.7%	75.0%

【平成30年度の取り組み】

取り組みの視点：「歯っぴー39 チャレンジ」の推進

- ・歯っぴー39 チャレンジリーフレット等を活用した啓発
- ・無料歯科健診券付き啓発カードによる啓発（カードの配布対象：妊婦の家族等）

《 行政 》

	主な取り組み	平成30年度 取り組み内容	実績	担当課
1	妊婦歯科健診・相談事業（妊産婦健康相談）	親子（母子）健康手帳交付に併せ、歯科健診・歯科健康相談を実施	相談日 236回 2,594人 相談日以外 194回 219人	各区 保健子ども課
2	歯科健康相談	歯科健康相談を実施	9回 11人	
3	プレパママ広場	子育て支援センターにおいて歯科講話・だ液検査・歯みがき指導等を実施	3回 10人	南区 保健子ども課

《 関係団体・機関 》

	平成30年度 取り組み内容	実績	団体等
1	妊婦に対して、歯科健診及び個別指導を実施	1,225人	熊本市 歯科医師会
2	産婦人科において歯科健診受診勧奨に関するチラシの配布頼	実施	

【課題】

○指標 1 から 3 とともに基準値から上昇しているが、目標値に到達していない。喫煙が健康に及ぼす影響や妊娠期からの口腔管理の必要性に関する普及啓発をさらに強化する必要がある。

【令和元年度の取り組み予定】

《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	妊産婦健康相談日以外の妊婦歯科健診を、継続して実施する	各区 保健子ども課
2	プレパママ広場において、パートナーと一緒に気軽に参加できるよう歯科講話時に妊婦疑似体験を併せて実施する（夫婦で口腔衛生に関心を持てるようにする）	南区 保健子ども課
3	妊婦に対して、歯科健診及び個別指導を実施する 産婦人科における妊婦への歯科健診受診勧奨に関するチラシの配布を依頼する	熊本市 歯科医師会
4	県からの受託事業「市町村歯科衛生士研修会」の中に下記 1,2 の内容を盛り込み、歯科衛生士や保健師、栄養士など保健事業担当者を対象として、妊婦に対する歯科保健指導の充実を図る研修会を実施する予定 1. 妊娠期における喫煙による健康被害について 2. 母親のむし歯や歯周病が子どもに与える影響と歯科健診及び歯科治療の必要性など	熊本県 歯科衛生士会

【取組みの方向性】

○かかりつけ歯科医による定期的な歯科健診と専門的な口腔ケアの受診勧奨を図る。
○喫煙や歯周病が妊婦や胎児へ及ぼす影響に関する歯科保健指導や情報提供の充実を図る。

重点
取り組み



- 1、妊娠期からの医科歯科連携の推進
→産科医院等の妊婦健診における歯科健診の受診勧奨の強化
- 2、区役所の妊婦歯科健診事業における歯科保健指導や歯科啓発の充実

乳幼児期

	指標項目	H23 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
4	1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	a	98.2%	100.0%
5	3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	a	79.6%	90.0%
6	3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	c	28.3%	10.0%
7	3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	b	45.1%	70.0%
8	フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	a	51.2%	60.0%

【平成30年度の取り組み】

取り組みの視点：「歯っぴー39 チャレンジ」の推進

- ・歯っぴー39 チャレンジリーフレット等を活用した啓発
- ・無料歯科健診券付き啓発カードによる啓発（カードの配布対象：乳幼児の家族等）

《 行政 》

	主な取り組み	平成30年度 取り組み内容	実績	担当課
1	1歳6か月児 歯科健康診査・ フッ化物塗布	1歳6か月児健康診査において歯科健診及び相談を実施し、 希望者にフッ化物塗布を実施	251回 6,705人 フッ化物塗布 6,253人 (93.3%)	各区 保健子ども課
2	3歳児 歯科健康診査	3歳児健康診査において歯科健診及び相談を実施	197回 6,741人	
3	育児相談	歯科健康相談	300回 3,067人	
4	歯科健康教育	子育てサークルや区役所等におけるむし歯予防講話	99回 1,115人 83校区	
5	フッ化物洗口 説明会	フッ化物洗口の効果と安全性について説明 対象：職員・保護者・職員 ※新規実施 4園	73園 65回 1,087人	
6	フッ化物洗口 実施前 歯科健康教育	対象：幼児・保護者等 内容：歯科講話、歯みがき指導やフッ化物洗口指導を実施	93園 99回 5,602人	
7	園長会や研修会 における むし歯予防 説明会	園長会、保護者支援研修会、全体研修会において、本市の幼 児の口腔状況について説明し、歯科健康教育、歯っぴー39 チャ レンジリーフレット及び無料歯科健診券付き啓発カードの配 布について依頼	4回	健康づくり 推進課
8	乳幼児パパママ 教室	保育所、子育てグループ等へ講師を派遣し、家庭教育につい ての学習機会の提供	実施	子ども支援課
9	出前講座	「乳幼児のためのベロタッチ研修会～お子様の口腔機能発 育のために～」 担当：特定非営利活動法人自立応援団	2回 112人	生涯学習課
10	地域歯科保健 研修会	噛むことが、むし歯や歯周病の予防をはじめ歯並びとの関係 性、全身の健康に与える影響について理解を深め、それぞ れの立場でできることを考え、また、保育所、区役所等に おける「噛ミング30」の普及啓発の拡大を図った 演題：「子どもの未来と健康づくりを噛むことから始めよう」 講師：伊東歯科口腔病院 院長 伊東 隆三氏 同院 歯科衛生士 高瀬 佳菜子氏 友愛会保育園 園長 重安 康子氏	1回 81人	健康づくり 推進課

	主な取り組み	平成 30 年度 取り組み内容	実績	担当課
11	啓 発	マスコミ (KAB) 「赤ちゃんと一緒に」において、乳幼児のむし歯予防等について説明	H30.6.2 放送	東区 保健子ども課
		歯っぴー39 チャレンジの啓発用ポスターを作成し掲示	実施	
		区の子育て支援情報ホームページに「歯とお口の健康づくり」について情報を発信	実施	南区 保健子ども課

《 関係団体・機関 》

	平成 30 年度 取り組み内容	実績	団体等
1	口腔衛生等について、講演会を多くの団体へ拡充し実施する	実施	熊本市 歯科医師会
2	園歯科医の把握とフッ化物洗口への協力依頼 (フッ化物洗口を推進するため、園歯科医を把握し、協力依頼をする)	全会員	
3	小児科への協力依頼	実施	
4	歯っぴー39 チャレンジリーフレットを、7ヶ月児健診時に配布し啓発を実施	実施	熊本市医師会
5	保育園における歯科啓発 フッ化物洗口の認知度を高めながら、安全性や有効性について情報提供を実施	全園へ 呼びかけ	熊本市 保育園連盟
6	各ブロック保育士会・給食部会合同研修会 (7/5 国際交流会館) 演題:「お口育ては食育にあり～保育現場から子どもの健口へ～」 講師:母歯ネットワーク認定虫歯予防マイスター 歯科衛生士林田香名氏	保育士 47名	
7	各ブロック給食研修会において、講話を実施 (7/5 熊本県民交流会館パレオ) 演題:「歯からみる食生活」 講師:城南歯科医院 院長 宮本 格尚氏・副院長 宮本 美砂氏	保育士 33名	
8	歯科検診の実施及び歯科受診勧奨 熊本県歯科保健状況調査の協力	全園	
9	歯科健康教育 (子ども文化会館や地域のコミセン) 対象:乳幼児と保護者 内容:むし歯予防講話・歯みがき実践指導	2回 74人	熊本県 歯科衛生士会
10	認定子ども園における歯みがき教室 対象:園児 内容:むし歯予防講話・歯みがき実践指導	1回 48人	
11	おやこの食育教室 (親子で調理実習) 共食、かむことの大切さを学び、親子のコミュニケーションの充実を図った	1回 23人	食生活改善 推進員協議会
12	子育てサークル等で、おやつレシピ (熊本市作成) を使用し、おやつの適切な量や食べ方を説明	1,693回 11,678人	
	子どもの食育推進ネットワーク活動 地域の保育所等の依頼を受け、園と連携した食育活動を展開 人気の「食育劇」において、「早ね 早起き あさごはん」など生活習慣と朝食の大切さ、おやつの食べ方についての啓発を実施		
13	子育てサークル、保育所などへ歯科啓発を実施	105回 4,759人	8020 健康 づくりの会

【課題】

- 指標 4 及び指標 5 は、基準値に対して上昇しているが、3 歳児のむし歯は依然多い状況であり、むし歯予防対策をさらに推進していく必要がある。
- 3 歳児での不正咬合が認められる者が増加している。

【令和元年度の取り組み予定】

《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	《1 歳 6 か月児歯科健診事後フォロー》 むし歯の発生や増加が懸念されるハイリスク児に対し、健診後の生活習慣の改善・歯科受診状況を確認し、未受診者に対しては歯科受診を促し、児の健やかな成長を支援する	南区 保健子ども課
2	フッ化物洗口未実施園も含め全保育所に歯みがき教室の意向調査を行い、フッ化物洗口の開始に向けた働きかけを実施する	各区 保健子ども課
3	入園事務説明会等において、むし歯予防について啓発を図る	
4	保育所等でのフッ化物洗口を推進する	熊本市 歯科医師会
5	定例園長会（4 月）に、「2019 年度フッ化物洗口支援事業について」会員園への説明と実施及び継続を依頼	保育園連盟、 私立幼稚園・ 認定こども園 協会
6	県からの受託事業「市町村歯科衛生士研修会」の中に下記 1-3 の内容を盛り込み、歯科衛生士や保健師、栄養士など保健事業担当者を対象として、歯科保健指導の充実を図り、子どものむし歯予防に繋がるような研修会を実施する予定。 1. 正しい食習慣やよく噛むことがむし歯予防につながること 2. 幼児期からのむし歯予防の必要性 3. むし歯予防のエビデンスに基づいた保健指導について	熊本県 歯科衛生士会

【取組みの方向性】

- 多職種や関係団体と連携を強化し、「かかりつけ歯科医における定期的な予防管理」の定着に向けた更なる啓発の強化を図る。
- 不正咬合に影響がある不良習癖等の改善に向けた情報提供の強化を図る。

重点
取り組み



～歯っぴー39 チャレンジの更なる推進～

- 1、むし歯予防や不正咬合の予防に向けた普及啓発を強化
- 2、「かかりつけ歯科医における定期的な予防管理」の定着と保健指導の充実→歯っぴー39 チャレンジリーフレット等の活用

学童期、中・高生期

	指標項目	H23 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
9	小学校でのむし歯や歯肉炎予防のための健康教室実施校の増加（区役所実施）	29校	b	28校	92校
10	12歳児でのむし歯のない者の増加（1人あたりむし歯本数の減少）	1.29本	a	0.9本	0.7本未満
11	中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	28.9%	a	26.0%	20.0%
12	高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	21.7%	a	21.7%	20.0%

【平成30年度の取り組み】

《 行政 》

	主な取り組み	平成30年度 取り組み内容	実績	担当課
1	歯科健康相談	対象：小学生とその保護者等	10校区 32回 94人	各区 保健子ども課
		対象：中学生とその保護者等	3校区 3回 10人	
2	歯科健康教育	小中学校からの依頼により、学校や家庭における歯や口の健康づくりに関する取組み等の助言を行う（学校保健委員会における歯科健康教育、会議等）	10校 小学校9校・ 中学校1校	各区 保健子ども課
		小中学生を対象とした、むし歯や歯肉炎の予防等の講話や歯みがき指導等を実施	32校 53回 4,017人	
3	歯科健診	歯科検診の実施及び歯科受診勧奨 熊本県歯科保健状況調査の協力	小・中・高校・ 支援学校全校	健康教育課
4	指導・啓発	歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発	実施	小・中学校
5	フッ化物洗口 事業 (小学校)	フッ化物洗口の実施についての説明会	対象：学校 65回 45校	各区 保健子ども課
			対象：教職員 8回 8校	
			対象：保護者 26回 16校	
		フッ化物洗口の実施 ※H30年度実施校 21校	366回 61,294人	
校区単位の健康まちづくりや区の催事等においてフッ化物洗口体験等の啓発を実施	37回 1,715人 51校区			

《 関係団体・機関 》

	平成30年度 取り組み内容	実績	団体等
1	全小学校でのフッ化物洗口事業開始に向けて、関係各所と会合し働きかけ	小学校への説明会	熊本市 歯科医師会
2	行政（教育委員会）と連携し、歯みがき巡回指導を実施：10校	小学3年生 710人 10校 特別支援学級 90人 9校	熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
	① 対象：小学校3年生 内容：講話と歯みがき実践指導 ② 対象：特別支援学級児童 内容：講話劇と歯みがき実践指導		
3	学校歯科医が地域学校歯科保健委員会等において歯科保健指導等を実施	実施	熊本市 歯科医師会
4	当協会事業「次世代育成支援に関する事業」において、中高年生への性教育出前授業を実施、その中で、妊娠・出産の話に加え、妊娠適齢期や歯の健康の話を取り込み、今後のヘルスケアにつながっていて、大切であることを伝えている	実施	熊本県 看護協会
5	区役所が実施するむし歯や歯肉炎予防教室における歯みがき支援	43回 6,300人	8020健康 づくりの会
6	区役所が実施する小学校におけるフッ化物洗口事業の支援	280回 49,455人	

【課題】

○指標 9 の小学校におけるむし歯や歯肉炎予防のための健康教室数が基準値よりも減少しており、学校保健と地域保健との連携による健康教育等の更なる充実が必要である。

○高校生における歯肉炎保有者は減少しておらず、早期からの歯肉炎対策が必要である。

【令和元年度の取り組み予定】

《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	小学校フッ化物洗口事業の実施に向けた取り組みを主管課及び学校と調整しながら進める	各区 保健子ども課
2	担当保健師等をととして歯肉炎予防等の大切さを伝え、学校に中・高生期における歯科保健の重要性を理解できるように働きかける	北区 保健子ども課
3	フッ化物洗口事業への協力・支援	熊本市 歯科医師会
4	学校保健委員会などへの積極的な参加と啓発	
5	学校薬剤師により小学校の薬物乱用教室で、口腔内への影響についてパワーポイント等を使って説明する	熊本市 薬剤師会
6	「性教育出前授業」で、歯の健康についての講話を継続する	熊本県 看護協会

【取り組みの方向性】

○歯科健康教室を未実施の学校については、学校歯科医の連携のもと、実施に向けて働きかける。実施する際は歯間部清掃補助道具（デンタルフロス・歯間ブラシ）の活用を含めた歯科保健教育や歯科保健指導の充実を図り、むし歯や歯肉炎予防対策を推進する。

○小学校におけるフッ化物洗口の円滑な推進に向けて、各校区における 8020 推進員の増員を目指す。

重点
取り組み



- 1、フッ化物洗口事業に伴う歯科健康教育や歯科保健情報の提供
- 2、学校健診を活用した歯科保健指導の充実

◆小学校におけるフッ化物洗口の進捗状況と実施計画

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施 校数	モデル事業							予 定		
	1	3	7	7	9	10	21	43	70	92
	1.0%		7.4%			23%		全校実施 100%		

成人期

	指標項目	H22またはH23 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
13	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少	38.0%	c	81.4%	25.0%
14	40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	35.4%	c	65.1%	25.0%
15	40歳の未処置歯を有する者の減少	43.8%	c	58.4%	10.0%
16	40歳で喪失歯のない者の増加	68.5%	c	57.8%	75.0%
17	60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	53.7%	c	65.6%	45.0%
18	60歳の未処置歯を有する者の減少	15.8%	c	44.1%	10.0%
19	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	63.9% (H23)	a	76.1%	80.0%
20	60歳代における咀嚼良好者の増加	51.6%	a	79.0%	80.0%
21	定期検診を受ける者の増加	25.4% (H23)	a	55.6%	65.0%
22	口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	29.5% (H23)	a	68.2%	70.0%

※指標 13 は、基準値は一大学、中間評価は、6 大学（大学合同の T1 フェスティバル）の実績

【平成 30 年度の取り組み】

《 行政 》

	主な取り組み	平成 30 年度 取り組み内容	実績	担当課
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生の向上を目指し、学園祭等で歯科健診や歯科相談を実施	・ T1 フェスタ 寺原自動車学校 117 人 ・ 所内 155 人	各区 保健子ども課
2	生活習慣病 予防教室	C K D（慢性腎臓病）や糖尿病予防教室参加者への歯科健康教育や個別歯科相談を実施	8 回 91 人	
3	成人歯科 健康教室 (8020 教室)	成人を対象に歯科疾患の予防等について情報提供	34 回 12 校区 539 人	
4	成人歯科 健康相談	成人を対象とした歯科健康相談を実施	28 回 20 校区 354 人	
5	出前講座	講座：「日本人はいかにして虫歯を克服してきたか～口腔衛生と歯科治療の歴史～」担当：熊本保健科学大学企画課	1 件 18 人	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	平成 30 年度 取り組み内容	実績	団体等
1	歯たちの健診（寺原自動車学校にて歯科健診を実施）	117 名	熊本市 歯科医師会
2	歯周病検診を含めた節目健診の充実の働きかけ	行政と内容 検討中	
3	牛乳飲用消費拡大事業：骨と歯の強化のため、牛乳使った料理の普及のため調理実習を行い、カルシウム摂取のため牛乳飲むだけでなく、食材として使うことの重要性を周知	1 回 10 人	食生活改善 推進員協議会
4	歯科医師会と連携し、企業の職域対象に歯科健診プログラムを実施 ※生活支援プログラム事業 対象：事業所職員 内容：歯科保健指導と歯周病リスク検査(ペリオスクリーン)	6 か所 8 回 178 人	熊本県 歯科衛生士会
5	各種団体に口腔健康講座を開催 内容：口腔健康講話・歯みがき実践指導	3 回 126 人	

	平成 30 年度 取り組み内容	実績	
6	県民公開講座「今日からはじめる口元ビューティー！」講演会の開催 目的：若い世代から歯と口の健康づくりに関する意識を高めるためのもの内容； 歯科医師会といきいき健康大使の対談、歯みがき指導、メディカルアロマの作製 体験（11/11 城彩苑）	県民 94 人	熊本県 歯科衛生士会

【課題】

- 指標 13 は大幅に上昇しており、若い世代からの歯肉炎対策が必要である。
- 指標 14～18 の 40 歳代・60 歳代においても歯周炎やむし歯を放置している者が多い状況であるため、歯科保健意識の向上に向けた普及啓発が必要である。

【令和元年度の取り組み予定】 《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	中央区健康まちづくり事業において「糖尿病と歯周病の関係」について周知する	中央区 保健子ども課
2	イベント等において歯周病検診の受診勧奨を行う	各区 保健子ども課
3	今年度から実施される 40 歳・60 歳における歯周病検診への協力	熊本市 歯科医師会
4	平成 30 年度と同様「牛乳飲用消費拡大事業」の実施	食生活改善 推進員協議会

【取り組みの方向性】

- 関係団体と連携し、口の健康が全身の健康につながること等、普及啓発の強化を図る。
- かかりつけ歯科医における定期的な口腔管理を実施する市民が増えるよう、区のイベントや関係団体との連携を通して、歯科保健情報提供の充実を図る。
- 若い世代から、歯間部清掃補助道具（デンタルフロス・歯間ブラシ）の使用が定着するための普及啓発やかかりつけ歯科医での具体的な指導の強化を図る。

重点
取り組み



- 1、むし歯や歯周病予防の啓発を強化
- 2、歯間部清掃補助道具（デンタルフロス・歯間ブラシ）の使用が定着するための普及啓発を強化
- 3、「歯周病検診」の周知とともに定期的な歯科健診の受診勧奨を強化

高齢期

	指標項目	H23またはH24 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
23	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者 (8020達成)の増加	38.3% (H23)	a	62.0%	65.0%
24	介護老人福祉施設・介護老人保健施設での定期的な 歯科検診実施率の増加	78.9% (H24)	a	92.2%	100%

【平成30年度の取り組み】

《 行政 》

	主な取り組み	平成30年度 取り組み内容	実績	担当課
1	後期高齢者歯科 口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の予防につなげるため、歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態や咀嚼を含む口腔機能をチェック(※H28年6月から実施)	652人 0.77%	国保年金課
2	介護予防普及 啓発事業	低栄養予防・口腔機能向上に向けたリーフレットを作成、ボランティアを活用しながら、「くまもと元気くらぶ」へ配布し、フレイル予防に向けた啓発の取組を実施	各関係機関へ 8,000部配布	高齢福祉課
3	高齢者歯科 健康教育 (8020教室)	高齢者を対象に地域において、口腔機能向上や口腔ケアの必要性について情報提供	99回 62校区 2,582人	各区 保健子ども課
4	8020表彰	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民を表彰するため、事前診査を行い、表彰式を実施	97人	
5	高齢者歯科 健康相談	高齢者を対象とした歯科健康相談を実施 (※地域における実施：32回、25校区、217人)	39回 25校区 235人	生涯学習課
6	出前講座	講座：「日本人はいかにして虫歯を克服してきたか～口腔衛生と歯科治療の歴史～」担当：熊本保健科学大学企画課	1回 18人	
		講座：「ストローゴルフで楽しく口腔予防～美味しい食事、会話を楽しむために～」担当：特定非営利活動法人自立応援団	2回 60人	
		講座：「ペロタッチ研修会食べて話して楽しく暮らす口腔予防」担当：特定非営利活動法人自立応援団	2回 66人	

《 関係団体・機関 》

	平成30年度 取り組み内容	実績	団体等
1	・8020表彰について該当者の推薦(会員へ周知徹底し、推薦を行う) ・8020推進員への支援 補助金交付・8020推進員育成講座・各支部でのセミナー等への参加)	実施	熊本市 歯科医師会
2	後期高齢者歯科口腔健康診査事業の実施	652名	
3	自立支援型地域ケア会議の開催と参加 (地域包括支援センターささえりあ27ヶ所：市歯科医師会担当27人)	実施	熊本市地域包括支援センター連絡協議会 熊本市歯科医師会
4	校区福祉ネットワークと連携し、お口の健康講座を実施 内容：講話・健口体操・口腔機能ゲーム	1回 28人	熊本県 歯科衛生士会
5	地域高齢者サロンにおいて介護予防講座を実施 内容：講話・健口体操・口腔機能ゲーム	1回 24人	
6	特別養護老人ホームにおいて口腔ケアに関する研修会を実施 対象：施設スタッフ 内容：講話と実習	1回 23人	
7	自立支援型地域ケア会議に助言者を派遣 (ささえりあからの依頼によるもの)	29回	
8	熊本県内13ヶ所で「まちの保健室」事業を展開 ※健康相談の中で口腔ケアについても啓発	実施	熊本県 看護協会
9	秋津町内 元気くらぶ(地域の運動の場)で口腔体操を実施	1回 20人 (70歳代)	訪問看護ステーションくまもと
10	生涯骨太クッキング：食の細くなる高齢者に対して、カルシウム摂取に効果的な牛乳・乳製品を利用した調理実習をとおして、骨・歯を守る食育を実施	2回 28人	食生活改善 推進員協議会
11	高齢者サロン等において、唾液腺マッサージやお口の体操等を通して、 歯科啓発を実施	211回 4,519人	8020健康 づくりの会

【課題】

- 指標 23 の 8020 達成状況は上昇しており目標を達成したが、今後は「食べこぼしやむせ、噛めない食品が増えた」など歯と口の機能のささいな衰えである「オーラルフレイル」の予防や改善が必要である。
- 指標 24 は上昇しているが、施設における口腔管理については、定着しているとはいえ、家族や介護職員の口腔衛生意識に左右される状況である。

【令和元年度の取り組み予定】
《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	後期高齢者健診、歯科口腔健診受診券の送付者を拡大する 前年度受診者に加え、後期高齢者被保険者に加入者に制度の案内のため受診券を送付	国保年金課
2	介護予防事業「短期集中予防サービス」を実施する 通いの場等において口腔機能低下がみられる方を早期に発見し、状態悪化を予防するため、通所型の口腔機能向上プログラムを実施予定（50 人、延べ指導数 150 回を予定）	高齢福祉課
3	8020 推進員の育成、8020 表彰について高齢者サロン、関係団体等に周知の強化を図る	各区 保健子ども課
4	後期高齢者健診事業の周知徹底する	熊本市 歯科医師会
5	歯科衛生士の資質向上に向けた研修会を実施する (地域包括ケア実現のための多職種における地域ケア会議の助言者養成研修)	熊本県 歯科衛生士会
6	引き続き、「まちの保健室」で歯の大切さについて啓発する	熊本県 看護協会
7	平成 30 年度と同様「生涯骨太クッキング」の実施する	食生活改善 推進員協議会

【取り組みの方向性】

- 施設職員や多職種等を対象に口腔ケア及びオーラルフレイルについて情報提供し、口腔衛生意識の向上を図る。
- 高齢者の口腔機能維持・向上に関する支援の推進を図る。
- 関係団体と連携し、8020 運動の推進とともにオーラルフレイル予防の取り組みを推進する。
- 後期高齢者歯科口腔健診受診率の向上を図る。

重点
取り組み



- 1、施設職員や多職種等への情報提供
- 2、地域におけるオーラルフレイル予防に関する取り組みの充実

2. 歯科口腔保健を推進するための社会環境の整備の取り組みについて

	指標項目	H24 基準値	中間 評価	H30 実績値	R5 目標値
25	障がい児（者）の種別毎の受入歯科医療施設の増加	65施設 (H23)	b	64施設	増加
26	障がい児（者）入所施設での定期的な 歯科検診実施率の増加	88.9%	b	88.9%	100%
27	8020推進員の育成数の増加（累計）	638人	a	991人	1,000人

【平成 30 年度の取り組み】

《 行政 》

	主な取り組み	平成 30 年度 取り組み内容	実績	担当課
1	障がい児（者） 口腔ケア地域リ ーダー育成事業	歯科医師及び歯科衛生士が、障がい児（者）の診療に対応できる知識や技術の習得を図り、障がい児（者）が身近な地域で、スムーズな歯科受診が促進されるよう障がい児（者）の歯科診療・保健の向上を図った ※障害者施設において実習を実施	2回 (1月、2月)	障がい保健 福祉課
2	障がい児及び発 達に不安のある 児のむし歯予防 事業 (歯っぴー事業)	子ども発達支援センター利用者で希望する幼児に「歯の健康手帳」を発行 身体障害者手帳・療育手帳や「歯の健康手帳」を保持する未就学児を対象として、フッ化物塗布や口腔衛生指導を実施	1件 28回 132人	子ども発達 支援センター
3	障がい者通所施 設での健康教育	障がい者通所施設からの依頼により、利用者や施設職員に対して口腔ケアの必要性や口腔機能に関する教室を実施	2回 55人	各区 保健子ども課
4	児童発達支援 サービス事業	児童発達支援サービスを利用中の方の歯科相談を実施 (※保育所等でのデイサービス)	31回 137人	
5	8020推進員 育成事業	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成	33回 受講生 87人 修了生 79人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
		8020推進員育成講座における合同研修会の実施 演題:「今すぐ始めよう！口腔がん検診！早期発見のすすめ」 講師:熊本大学大学院 生命科学研究部歯科口腔外科学分野 教授 中山秀樹 氏	149人	健康づくり 推進課
6	8020推進員 地域活動 支援事業	会設立10周年を記念し、「8020パレード」の支援 笑顔ヘルCキャンペーンにおいて8020推進員活動の支援及び8020推進員募集チラシ配布	153人	
		8020推進員に口腔ケアや歯周疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり活動の支援を実施	766回 推進員 2,850人 参加 69,156人	各区 保健子ども課
7	8020推進員 スキルアップ 研修会	目的:知識と技能向上と推進員同士の連携を図るため 対象:8020推進員育成講座受講生及び8020健康づくりの会会員等	16回 77人	
8	歯と口の 健康週間	毎年6月の「歯と口の健康週間」や、「歯の祭典」において、地域住民を対象に歯科保健普及啓発活動を実施	164回 9,052人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	校区単位の健康 まちづくりや地 域のイベント等	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科相談やだ液PHテスト等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施	52回 58校区 5,650人	各区 保健子ども課

	主な取り組み	平成 30 年度 取り組み内容	実績	担当課
10	災害時の口腔ケアの啓発	歯の祭典、笑顔ヘルC キャンペーンにおいて啓発	2回 412人	健康づくり推進課
11	熊本県歯科保健状況調査の協力	目的：県内の対象施設の歯科保健状況を把握し施策に反映させるもの 対象：保育所、幼稚園・認定子ども園、小学校、中学校、市立高等学校、熊本大学附属幼稚園・小中学校	1回 357施設	

《 関係団体・機関 》

		平成 30 年度 取り組み内容	実績	団体等	
1		障がい児（者）入所施設での歯科健診	2施設	熊本市 歯科医師会	
2		熊本市 8020 健康づくりの会設立 10 周年記念に上通りにおいて「8020パレード」に歯科関係者として参加し、8020 推進員について、市民に周知を図った	1回 4人		
3		笑顔ヘルC キャンペーン（びぶれす広場）における8020パレードの参加と歯科コーナーを出展し、歯科啓発を実施 対象：地域住民 内容：歯みがき指導、口臭チェック	1回	熊本県 歯科衛生士会	
4		北区いきいき未来のつどいにおける歯科衛生の普及啓発 対象：地域住民 内容：唾液 PH テスト・歯科保健指導	1回		
5		ラジオ放送（熊本シティ FM）出演による歯科衛生普及啓発 ① 乳幼児期からのむし歯予防 ②訪問歯科診療について	2回		
6		健軍・農村地域交流フェスティバル&健康フェアにおける歯科相談コーナー開設 対象：地域住民 内容：歯科相談及び歯科保健指導	2回 84人		
7		歯科医師会に協力し、2018第15回スペシャルオリンピックス日本・熊本における歯科検診事業（熊本学園大学） 対象：スペシャルオリンピックスのアスリート 内容：歯科保健指導	1回 12人		
8		歯科医師会が市から受託する「障がい者（児）口腔地域リーダー育成事業」へ協力し、口腔ケアを実施 対象：施設入所者 内容：歯科保健指導と口腔ケア	2回 63人		
9		あさひばオレンジフェスタ（秋津公民館）における歯科啓発を実施	1回		
10		「結核・ガン予防キャンペーンヘルシーくまもと2018」における歯科啓発を実施 主催：健康を守る婦人の会 対象：熊本市動植物園の来場者	1回		
11		「口から始める健康づくり」研修会を実施（H30.12.1） 内容：口腔機能が全身に与える影響について／口腔ケアの安全で正しい知識と技術の習得等	看護職・医療従事者 53人		熊本県 看護協会
12		地域におけるイベントなどにおいて、8020 クイズや歯科チラシ等を配布し、歯科啓発を実施	49回 6,463人		
13		会設立 10 周年を記念し、上通りにおける「8020パレード」の企画と実施参加団体：歯科医師会、歯科衛生士会、歯科技工士会、いきいき健康大使、消防音楽隊	8020 推進員 108人参加	8020 健康 づくりの会	
14		笑顔ヘルC キャンペーン（上通りびぶれす広場）において歯科啓発を実施人形劇、フッ化物洗口体験、8020 推進員活動紹介及び募集チラシの配布	1回 45人		

【課題】

- 指標 26 は、基準値と変わらず横ばいの状況であるため、定期的な歯科検診が実施できるような歯科保健医療体制の充実が必要である。
- 指標 27 は、上昇しているが、校区によっては 8020 推進員の人数に地域差がある。

【令和元年度の取り組み予定】

《 行政・団体等 》

	令和元年度 取り組み内容	関係課・団体等
1	平成 30 年度と同様に障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業に取り組む（2 回予定）	障がい保健福祉課
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「歯っぴー事業」のパンフレットを掲示して、窓口に設置する ・相談時、必要に応じて保護者へ「歯っぴー事業」について情報提供を行う ・パンフレットを活用して歯の健康について説明する 	子ども発達支援センター
3	「歯っぴー 39 チャレンジ」の推進を図る <ul style="list-style-type: none"> ・民児協会会長会議等で「歯っぴー 39 チャレンジ」について啓発する ・健康教育の機会を捉えて、子育て世代及び祖父母世代についても周知する 	各区保健子ども課
4	校区イベント等で、歯科保健啓発を 8020 推進員と協働で実施し、「8020 推進員育成講座」受講勸奨を行う	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の 8020 推進員の育成・活動内容周知徹底に協力する ・障がい児（者）入所施設での歯科健診（年度 2 回） 	熊本市 歯科医師会
6	「摂食・嚥下障害への支援と口腔ケア」研修を開催する 県協会研修センター及び熊本県内 5 支部(熊本市内含む) で看護職を対象に 6 回開催予定	熊本県 看護協会

【取組みの方向性】

- 障がい児（者）に対する歯科治療を実施する歯科医療機関の増加を図る。
- 8020 推進員を、全小学校区において育成し、地域住民への歯と口の健康情報の提供の充実を目指す。

重点
取り組み



～関係機関・団体、行政の連携強化～

- 1、障がい児（者）の施設に対して口腔ケアについて情報提供
- 2、関係機関・団体、行政の連携強化を図り、8020 推進員を紹介・推薦等により増員し育成